

コミュニティデザインとビジネス科目群

科目コード	OG243	科目名	金融論		科目群	第2群
担当者	鉢村 健 (ハチムラ タケシ)					
開講日程・時限	秋学期・水曜日・4時限	授業方式	オンライン	単位数	2単位	
備考	履修人数制限なし					
授業の目標	「金融緩和＝負債膨張」は資本主義の根幹であり人類社会に多大な影響を与えています。授業では金融経済の基礎を振り返りながら、現代社会が抱える構造問題の真因を探り、将来の課題を「自らの視点で捉え直す力の涵養」を目標とします。					
授業の内容	講義中心ですが、知識の暗記ではなく論理的に考えることに重きを置いています。現代社会は①主権国家②民主主義③グローバリゼーションの同時成立を求めて、国際協調を続けましたが、いま「格差拡大と民主主義の後退」に直面しています。この現象は過度な「金融緩和」が導いたものであり、今後も増幅されるでしょう。授業では多様な経験を有する学生の皆さんに金融面から新たな視点を提供して、「現代社会が抱える課題の本質と将来像」をご一緒に考えたいと思います。					
授業計画	第1回 9/21 オリエンテーション講義「現代社会と負債膨張」 第2回 9/28 貨幣論(1)「銀行券と貨幣」—通貨の製造企画と発行管理 第3回 10/5 貨幣論(2)「現金の流通構造」—還流システムと裾野産業 第4回 10/12 貨幣論(3)「キャッシュレス」—仮想通貨と決済システム 第5回 10/26 金融論(1)「民間金融」—銀行発達史と銀行経営の課題 第6回 11/9 金融論(2)「中央銀行」—機能と業務内容、国際比較 第7回 11/16 金融論(3)「金融市場」—金融政策と財政政策 第8回 11/30 金融構造論(1)「日本経済」—少子高齢化と所得格差 第9回 12/7 金融構造論(2)「地方経済」—中央依存と地域間格差 第10回 12/14 金融構造論(3)「世界経済」—景気循環と保護主義 第11回 12/21 国際金融論(1)「国際協調」—国際機関とサミット協議 第12回 1/11 国際金融論(2)「開発援助」—途上国支援と植民地主義 第13回 1/18 総括講義「負債膨張がもたらすマネロンと社会構造改革」					
成績評価方法	平常点による評価					
講義中に直接使用する教科書	講義用のパワーポイント資料を配付します(教科書の指定はありません)。					
上記教科書以外の参考図書	理解を深めたい学生用に、専門書を必要に応じて紹介します(購入不要です)。					
その他(HP等)						